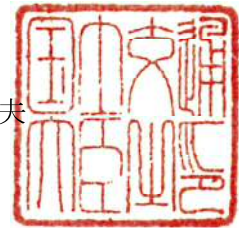


認 定 書

国住参建第 2116 号
令和 6 年 9 月 30 日

フネンアクロス株式会社
代表取締役 稲葉 久敬 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060FL-1295
2. 認定をした構造方法等の名称
給水管・排水管・繊維混入セメントモルタル被覆合成樹脂管継手／セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

給水管・排水管・繊維混入セメントモルタル被覆合成樹脂管継手／セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表 1 に示す。

表 1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ 360mm以下)
	面積	0.1018m ² 以下
占積率 (開口面積に対する配管の断面積の総合計の割合)		79.0%以下
貫通する床の構造等		鉄筋コンクリート造 厚さ 70mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項 目	仕 様	
充てん材	材料	セメントモルタル
	組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント 25(±5)
		細骨材(砂) 75(±5)
	充てん量	隙間に密に充てん (床厚方向70mm以上)

表 3 配管の仕様

項 目			仕 様		
継手及び給水管・排水管（以下配管という）	継手	外管	材料	繊維混入セメントモルタル	
			組成 (質量%)	セメント：①又は② ①ポルトランドセメント(JIS R 5210) ②エコセメント(JIS R 5214) 無機質骨材・無機質混和材 有機質繊維 非公開	
			密度	1.4(±0.2)g/cm ³	
			寸法	呼び径	250 以下〔近似外径 φ 319mm 以下〕
				厚さ	近似厚さ 26mm 以下
				形状	円形
		内管	材料	①～③の一 ①硬質ポリ塩化ビニル管継手 ②耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管継手 ③耐衝撃性硬質塩化ビニル管継手	
			寸法	呼び径	250 以下〔近似外径 φ 282mm 以下〕
				厚さ	近似厚さ 3～17.5mm
		空間形成材	材料	仕様：あり又はなし ①～④の一、又は組み合わせ ① 非公開 ② 非公開 ③ 非公開 ④ 非公開	
			形状	リング又はシート	

つづく

づつき

配管	立て管・横枝管(直管)	外管	材料	繊維混入セメントモルタル	
			組成 (質量%)	セメント：①又は② ①ポルトランドセメント(JIS R 5210) ②エコセメント(JIS R 5214) 無機質混和材・軽量骨材 有機質繊維 非公開	
			密度	1.4(±0.2)g/cm ³	
			寸法	呼び径	250 以下 [近似外径 φ 287mm 以下]
				厚さ	5.5～10mm
		内管	材料	①～③の一 ①硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741、JIS K 6742) (VP、HIVP 又は VU) ②耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6776) (HT) ③リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (JIS K 9798) (RF-VP)	
			寸法	呼び径	250 以下 [外径 φ 267mm 以下]
				厚さ	13.6mm 以下
		空間形成材	材料	仕様：あり又はなし ①～④の一又は組み合わせ ① 非公開 ② 非公開 ③ 非公開 ④ 非公開	
			形状	リング又はシート	

4. 副構成材料の仕様：

副構成材料の仕様を表4に示す。

表 4 副構成材料の仕様

項 目		仕 様	
目 地 材	①	材料	仕様：あり又はなし 熱膨張性黒鉛混入樹脂シート
		組成 (質量%)	①～③の一又は組合せ
			①
			熱膨張性黒鉛(グラファイト系) 非公開
			ポリエチレン //
			加工助成材(酸化チタン) //
			②
			熱膨張性黒鉛(グラファイト系) 非公開
			水酸化アルミニウム //
			エチレンプロピレンゴム //
			加工助成材(プロセスオイル) //
			③
			熱膨張性黒鉛(グラファイト系) 非公開
			ポリエチレン樹脂 //
			エチレン樹脂 //
			臭素系難燃剤 //
		厚さ	2mm 以上
		使用箇所	継手外管と立て管及び横枝管
	②	材料	仕様：あり又はなし けい酸ナトリウム系
		組成 (質量%)	けい酸ナトリウム系 非公開 細骨材・混和剤 有機繊維
		寸法	幅：10mm 以下、厚さ：2mm 以上
		使用箇所	継手外管と立て管及び横枝管の外管部分、たて管と立て管の接続部、横枝管と横枝管の外管の接続部、たて管及び横枝管の外管端部
	③	材料	仕様：あり又はなし 片面アルミニウムはく張ガラスクロス付ポリアクリロニトリル繊維フェルト(粘着剤付) 構成：①、②、③及び④の積層 ① 非公開 ② 非公開 ③ 非公開 ④ 非公開
		寸法	幅：20～70mm、厚さ：0.61mm以上
		使用箇所	継手外管と立て管及び横枝管の外管部分、たて管と立て管の接続部、横枝管と横枝管の外管の接続部、たて管及び横枝管の外管端部
		使用箇所	継手外管と立て管及び横枝管の外管部分、たて管と立て管の接続部、横枝管と横枝管の外管の接続部、たて管及び横枝管の外管端部
	④	材料	仕様：あり又はなし ステンレス鋼板又は鋼板(めっき処理品含む)
		寸法	幅：15mm 以上、厚さ：0.25mm 以上
	⑤	使用箇所	継手外管と立て管及び横枝管の外管部分、たて管と立て管の接続部、横枝管と横枝管の外管の接続部、たて管及び横枝管の外管端部
		材料	仕様：あり又はなし シリコーン系シーリング材(JIS A 5758)
		使用量	43g/m以下
	⑤	使用箇所	継手外管と立て管及び横枝管の外管部分、たて管と立て管の接続部、横枝管と横枝管の外管の接続部、たて管及び横枝管の外管端部
		使用箇所	継手外管と立て管及び横枝管の外管部分、たて管と立て管の接続部、横枝管と横枝管の外管の接続部、たて管及び横枝管の外管端部

つづく

つづき

止水材	材料	仕様：あり又はなし シリコーン系シーリング材(JIS A 5758)
	使用箇所	必要に応じて、横枝管部の内管と外管の境界部に止水材として使用(適量)
表面処理	材料	仕様：あり又はなし アクリル樹脂系
	使用量	90g/m ² 以下
	使用箇所	継手、立て管・横管の外管
モルタル落下防止材	材料	仕様：あり又はなし 構成：①及び②の積層 ①アルミニウム箔 ②ポリエチレンフォーム
	寸法	非公開

5. 構造説明図：
構造説明図を図1示す。

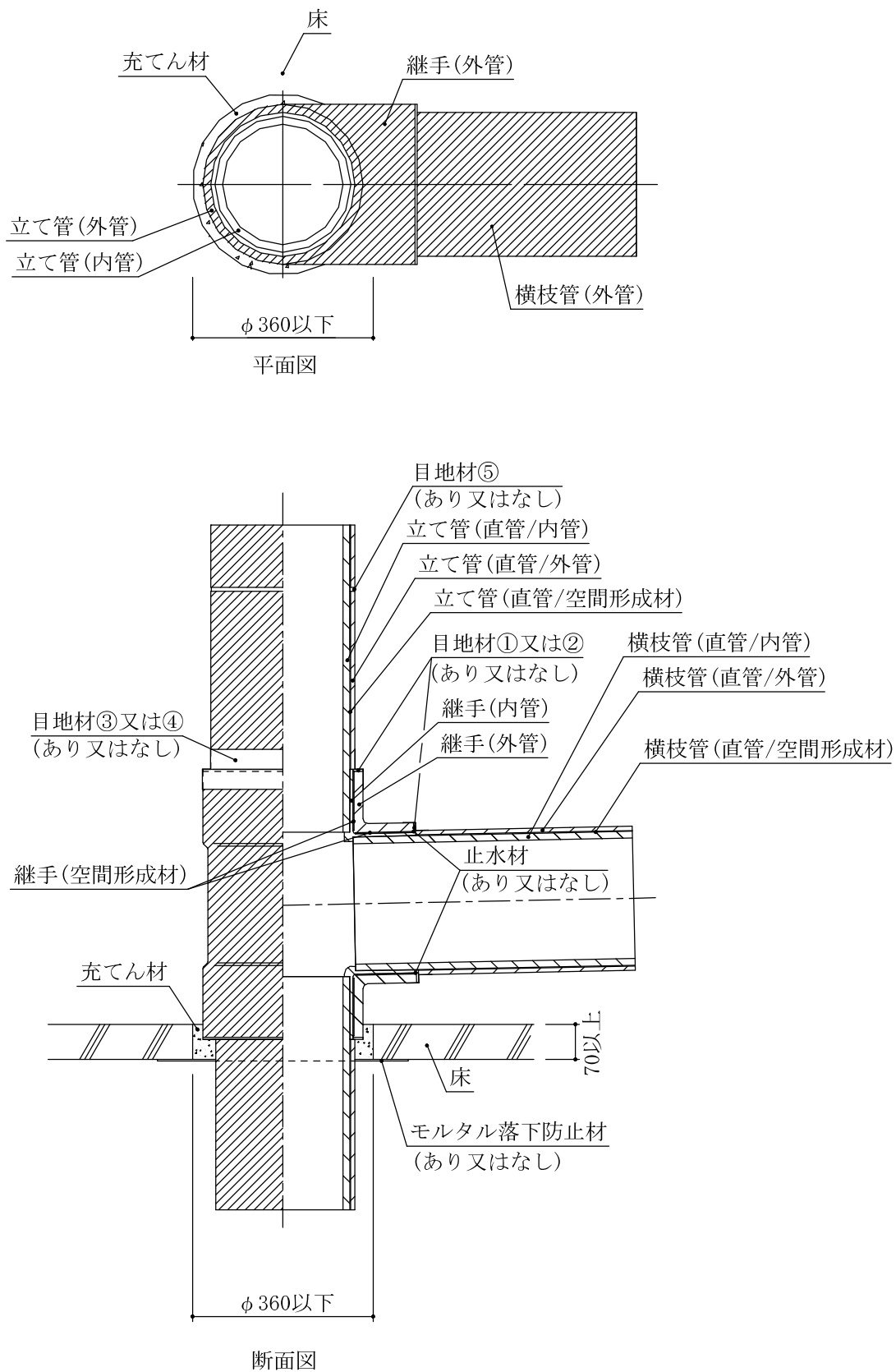


図1 構造説明図(施工図)

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 開口面積、占積率の確認

配管図に基づき配管の設置状況及びサイズを調べ、開口面積・占積率を確認する。

(2) 継手の仕様

雨水等の侵入防止として横枝管部の塩化ビニルの部分と繊維混入セメントモルタルの境界部に止水材としてシリコン系シーリング材を施す場合がある。

(3) 施工注意事項

- ・施工上横枝部が直接床と接する場合は、クッション材など最小限の大きさの物を使用する。
- ・外管のヒビ又はキズ等の補修は、適切な方法にて補修する。

(4) 配管支持

配管の支持は、耐火二層管について定められた支持施工方法に準じて行う。

(5) 貫通部の埋戻しの確認

配管と防火区画の床の開口部を、充てん材で隙間を生じないよう密に充てんする。

①セメントモルタル充てん材

1) セメントモルタルの調合

セメントモルタルはセメント 25%：砂 75%の割合で充分混合し、かつ水セメント比は必要最小限(50～60%)にて混練する。

2) セメントモルタル落下防止材の取付け

必要に応じて床の下面にセメントモルタル落下防止材を取付ける。開口部周囲及びセメントモルタル落下防止材は、水で湿らせる。

3) セメントモルタルの充てん

開口部を水で湿らし、開口部全体をセメントモルタルで隙間が生じないように充てんする。使用量は、開口面積、配管の管サイズによって異なるが、遮炎性能を確保する深さ 70mm 以上の量とする。

4) セメントモルタル落下防止材の取外し

セメントモルタルが充分固まってから、必要に応じてセメントモルタル落下防止材を取外す。